

コロナ禍2年でわたしたち議会は何を獲得できたのか

新型コロナウイルスが、わたしたちの社会に大きな影響を与えつづけています。市民生活や地域の活動、対応を迫られる自治体・行政など、あらゆる社会活動が影響を受けています。

自治体議会においては各地の現場や状況に応じたさまざまな課題や状況に悩みながら、議会機能の維持や機能発揮への活動が展開され、一気に社会に定着したオンラインを活用し、新たな可能性への取り組みをすすめる議会も広がりはじめています。

また、全国市議会議長会も「オンラインの方法による委員会の開催に関する参考条例等の作成」するなど、社会や状況の変化に応じた従来の議会活動のありかたについて、その本質的な機能や役割をそれぞれの議会で問い直す機運も高まっています。

今回、このコロナ禍2年で各地の議会の実践によって獲得できたことについて確認し、各地の課題や状況、知恵や経験を共有しながら、これからそれぞれの議会へ活かしていくためのオンライン交流会議を開催します。

社会生活に定着したオンライン開催です。全国各地からのご参加をお待ちしております。

開催概要

日 時：2022年3月27日（日）14時-16時30分（終了後、17時より交流会を予定）

方 法：オンライン開催（Zoom） 定 員：80名（先着順）※申込締切：第二次〆切 3月25日（金）17時

主 催：市民と議員の条例づくり交流会議・自治体議会改革フォーラム

参加費：議員（都道府県・市議会議員）5000円、議員（町村議会議員）3000円、市民（一般・議員以外）2000円

特別（1期目の議員）3000円 ※今回「1期目の議員」を対象とした「参加費」を設定しました

申 込：Peatixサイトよりお申込ください <https://jourei20220327.peatix.com>

プログラム（予定）

▼基調提起「コロナ禍2年でわたしたち議会は何を獲得できたのか」

廣瀬克哉・自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表

▼話題提供「コロナ禍2年にどう向き合い、どのように取り組んできたのか」

「コロナ禍・財政非常事態宣言・市民とのオンラインでの意見交換会」

内藤 法子（静岡県裾野市議会議員）

「オンラインを活用した市民との対話・報告会、市民との合同研修会」

田中 健（愛知県知立市議会議員）

「議会報告会をやめない／動画配信からオンラインでの対話と議論の場づくりへ」

佐藤 まさたか（東京都東村山市議会議員）

「いち早く議会報告会オンライン化／新たなコミュニケーションをつくっていく」

寺本 さなえ（兵庫県宝塚市議会議員）

▼質疑応答・ディスカッション（終了後、17時より交流会を予定）

お問い合わせ・事務局（担当：亀井）

〒102-0082 東京都千代田区一番町 9-7-6F TEL 03-3234-3808 E-mail jourei@jourei.jp

